

2005年12月5日

第6次LT(石炭)取引に関する覚書

日本国中国原料炭・一般炭需要家代表と中国中煤能源集团公司とは、日中間の石炭取引を安定的に維持・発展させるという観点から友好的に協議を行い、2006年度以降の日中長期貿易取決め(LT)に定める石炭取引について、以下のとおり合意したことを確認する。

1. 期間

2006年4月1日より2011年3月31日迄

2. 数量及び銘柄

(1) 原料炭とPCI用炭

① 基本数量

2006年度～2008年度までの各年度の基本数量は300万MT～400万MTとする。

2009年度、2010年度の基本数量については、2008年9月末までに、日中双方の協議により取決めるものとする。

② 銘柄

本LTにおいて取引の候補となる銘柄については、「西曲炭、馬蘭炭、沙曲炭、兗州PCI用炭、濟寧PCI用炭、棗庄1号炭、棗庄2号炭、淮北炭、臨渙炭、辛置炭」とする。

上記銘柄を除く新規銘柄については、日本側におけるサンプル分析の結果とデリバリー情況等を踏まえ、日中双方が別途協議の上決定する。

(2) 一般炭

① 基本数量

2006年度の下限数量は726.77万MTとする。

2007年度と2008年度の下限数量は739.67万MTとする。

2009年度、2010年度の基本数量については、2008年9月末までに、日中双方の協議により取決めるものとする。

② 銘柄

本LTにおいて取引の候補となる銘柄については、「大同炭、大同精炭、大中(馬脊梁)炭、兗州1号一般炭、協庄炭、許廠炭、翟鎮炭、榆家梁炭、平朔炭」とする。

新規銘柄等、規定の無い銘柄については、日中双方協議の上、別途取決めるものとする。

3. 各年度の契約数量、取引銘柄、価格の決定

原料炭と PCI 用炭及び一般炭各々の各年度の契約数量、取引銘柄及び価格については、各年度毎に国際マーケット、当該炭の品質、デリバリー及び引取の状況等を勘案して、原料炭・一般炭それぞれに交渉を行い決定するものとする。

4. 相互協力

日中双方は、相手方のニーズや環境の変化に対し、相互協力の精神をもって柔軟に対応し、本覚書の内容についても必要に応じて適宜見直すことにより、両国間の石炭取引の発展を図るものとする。

5. その他

- (1) 売手は毎年買手各社とそれぞれ英文の契約書を締結する。
- (2) 本覚書に記載しないその他条件については別途協議する。

本覚書は、日中両国語で作成され、両国語正本各々 2 通のうち、双方は各 1 通を保有する。

日本国中国原料炭・一般炭需要家代表
日中長期貿易協議委員会
中国石炭専門委員会 委員長

永元和夫

中国中煤能源集団公司 総經理
中日長期貿易協議委員会
石炭分会 分会長

任立光

2005年12月5日

第6次LT(煤炭)贸易备忘录

中国中煤能源集团公司和日本国中国炼焦煤、动力煤用户代表，从稳定地维持和发展中日之间煤炭贸易的观点出发，进行了友好协商，并就2006年度以后的中日长期贸易协议(LT)规定的煤炭贸易达成以下协议。

1. 期限

2006年4月1日至2011年3月31日。

2. 数量及煤种

(1) 炼焦煤和喷吹煤

① 基本数量

2006年度至2008年度各年度的基本数量为300万公吨—400万公吨。

2009年度至2010年度各年度的基本数量在2008年9月底以前由中日双方协商决定。

② 煤种

本协议规定的贸易备选煤种为：西曲煤、马兰煤、沙曲煤、兗州喷吹煤、济宁喷吹煤、枣庄1号煤、枣庄2号煤、淮北煤、临涣煤及辛置煤。

关于除上述煤种之外的新煤种，将根据日方对样品分析的结果和交货情况等，中日双方另行协商决定。

(2) 动力煤

① 基本数量

2006年度的下限数量为726.77万公吨。

2007年度和2008年度的下限数量为739.67万公吨。

2009年度至2010年度各年度的基本数量在2008年9月底以前由中日双方协商决定。

② 煤种

本协议期的备选煤种为：大同煤、大同精煤、大中(马脊梁)煤、兗州1号动力煤、协庄煤、许厂煤、翟镇煤、榆家梁煤、平朔煤。

关于新煤种等没有规定的煤种由中日双方另行协商决定。

3. 各年度合同数量、贸易煤种以及价格的决定

炼焦煤、喷吹煤和动力煤各自的每年度合同数量、贸易煤种以及价格，将根据每年度的国际市场行情、在考虑到各煤种煤质以及交接货情况的基础上进行谈判决定。

4. 相互合作

为发展两国之间的煤炭贸易，中日双方应本着互相合作的精神，灵活对应对方的需求以及环境变化。如有必要，可对本备忘录的内容进行适当的修改。

5. 其他

- (1) 卖方每年与买方各家分别签订以英文书就的合同。
- (2) 本备忘录未尽事宜另行协商。

本备忘录由中日两国文字书就，正本各两份，双方各持一份。

中国中煤能源集团公司 总经理
中日长期贸易协议委员会
煤炭分会 分会长

日本国中国炼焦煤、动力煤用户代表
日中长期贸易协议委员会
中国煤炭专门委员会 委员长

傅云生

永元和夫